

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



# イマジン通信

Vol.31

## 新年の挨拶

理事長 澤島直通

新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

さて、今年のイマジンは、相談支援事業は現時点では島田市からの直接の事業受託の予定はありませんので、設立以来継続してきたNPOの活動の一環として相談支援事業を実施していきます。

ヘルパー事業ですが、現在名の利用者にご利用いただいている大きな事業となっています。利用者の中には行政や学校から持ち掛けられた相談のケースも多く、ヘルパーとして支援はしていますが、実際には日々、事業所内を中心に相談支援でのケース会議を繰り返して支援をさせていただいているという方が増えてきています。

GH・CH事業ですが、現在10名の方が我が家のように生活しています。入居者の中には定期的な受診が必要になる方や食事制限・生活改善が必要になる方も出てきました。ご家族とでは受診できなかった歯科などはしっかりと治療を受けていただき、痛みや食事への不具合を解消した方も数名います。また、耳鼻科、皮膚科など家族では見落としがち部分での医療的なケアを受けていただくことで健康で楽しく生活していただいています。もちろん、その度に世話人やサポーターが対応を学ばせていただき、ついつい雨やどりが居心地のいい家になってきています。その反面、施設や病院から退院・退所をされる方、地域の中から様々な事情でご家族とは生活できなくなりそうな方、現状では社会生活が困難と判断される方に関して、本人・行政・病院・支援センターなどからの問い合わせや見学が増えてきています。GH・CH事業の必要性が高まっていますので、時期を見て次のGH・CH設置に動き出します。

デイサービス事業は、回を重ねるごとに参加者が増えていきます。また、以前の通信でもお伝えしましたが、毎月の活動を楽しみに参加してくれる方と他者の中で活動することが初めてであったり、慣れていないという方に分かれてきています。目的も様々になってきていることや現在のプログラムだと参加できない方もいらっしゃるので、今年は目的や参加者層を明確にしたデイサービスを実施していきたいと思っています。

タイムケアサービスは、制度外のサービスとしてイマジンの特色を出している大切な事業です。ヘルパーのような支援は減少傾向にありましたが、行政の財政面からの影響で支給量が減少していくことが懸念されますので、今後、タイムケアでの対応を求められることが多くなると考えられます。また、緊急の事情により宿泊の支援を行う機会が多くなっています。昨年の総会で決議をしたショートステイ事業への着手が急がれます。

イマジンの活動のすべてが相談支援に集約されています。ヘルパー事業もGHCH事業も他の様々な事業を行っていてもケアマネージメントを用いた本人主体の支援をしていくことが今年も求められていると強く実感します。

“地域生活をサービス利用で組み立てる” 障害者自立支援法の一つの大きなテーマでした。しかし、政局も不安定な現時点では明るい見通しは少なく、部分的には区分という足かせが本人の生活を縛っている面もあります。春頃には支援法の改正点もはっきりとしてくると思われれます。イマジンも舵取りをしっかりとって大きな波を乗り越えていく力をつける一年になりそうです。今年もよろしくお祈りします。

## “つつい雨やどり”の生活 ③

グループホーム・ケアホームでの生活ということ、日中活動（仕事、通所施設の活動、学校など）との関係をすぐに考えてしまいますが、生活の中では土日や祝日など余暇の活動が重要になってきます。つつい雨やどりでは10名の入居者が休みの日も実家に帰ることなく生活しています。休みの日の朝はゆっくりと始まります。平日でしたら6時前から就職組がバタバタと動き出しますが、休みの日は自閉症の生活パターンがしっかりと決まっている方が7時過ぎ頃から動き出し、7時半からの仮面ライダーなどの特撮戦隊ものを見ながらの朝食となります。その後、テレビも朝の情報番組などに変わり、順次起きてきた順に朝食をとります。朝食後は、各個人ごとに自由な時間を過ごします。洗濯をする方、掃除をする方、テレビを見て過ごす方、音楽を聴いて過ごす方…などなど。時間が空いてしまうと入居者同士で声を掛け合って“アルミ缶つぶし”をすることもあります。どうしても作業・労働に近い印象を拭いきれず施設的なイメージで捉えがちですが、入居者の自主活動と位置付け、強制は一切しません。むしろ入居者同士が「後でやろう！」などと打ち合わせをし「〇〇もいっしょにやるぞ」などと促しあっています。声をかけられた方も「はいね」などと予定に組み入れます。声をかけられなかった方もアルミ缶つぶしが始まるといそいそと外に出てきて積極的に参加します。



島田 天徳寺にて

そんな様子を見ていると、ついご褒美を出したくなってしまいます。活動後のコーヒーやおやつを美味しくいただくのが一層活動を楽しくします。

といっても、これだけでは休みの日は終わりません。各自がヘルパーを利用して外出をしています。シャンプーや歯磨き粉などの生活雑貨、下着やタオルなどの衣類の買い物、銀行への出金、歯医者や耳鼻科など医療機関への通院など特に必要と考えられる外出。お菓子やジュース、本、CDなどの買い物。プールやカラオケ、地域の活動への参加など各自が欲しいと考える外出。外出と言っても理由も目的も様々です。その時のその方に必要なことをヘルパーの支援を受けて外出しています。移動手段も徒歩、バス、電車など様々ですが、その方のその活動に合わせた方法で移動をします。ヘルパーの支援を受けながらですが“地域”の中に入っていきます。イマジンでは、“車で送り届け。ドアからドアへ移動”を最善と考えていません。簡単で楽ではありませんが“地域で暮らす”という意味が薄れてしまうように感じます。もちろん車の使用や施設側の支援は必要不可欠ですが、休みの日の外出には一番最初に利用する支援ではないと考えています。それを象徴するようなエピソードがあります。入居者の中に施設からつつい雨やどりに移行してきた方でAさんという方がいます。土曜日になるとバスに乗りイマジンへ出かけて行きます。イマジンに行って何をやるということも無いのですが、土曜日があると着る服を気にしたり、そわそわと外を気にしたりしています。このAさんが歩くのもままならないほど腰を痛めてしまいました。立ち上がるのもコマ送りのようにゆっくりで、痛みをこらえる顔が痛々しく感じたために外出を控えるように声かけをしたところ、首を横に振り「嫌」と意思表示をされました。何度聞いても外出を控えるのは嫌とはっきりとした意思を感じ、支援者を付けて外出をしました。歩くこともままならなかったのに、外出には積極的に小刻みではありますが歩いていきます。痛みをこらえる顔が、目を輝かせて周りの景色を見ながら笑顔に変わります。自分での外出行為は、彼らにとって地域で生活していると実感できる貴重な時間のようです。



アルミ缶つぶし

休みの日の過ごし方は本人次第です。本人らしさを求めながら、サービス利用は計画を立てなければならないので、入居者に我慢をしてもらうこともあります。まだまだ運営側の見直しが必要なようです。（担当 北川）



## ヘルパーはやっぱり楽しい♪

いつもイマジンのヘルパーをご利用くださりまして、ありがとうございます。

利用者ひとりひとりを見つめ、必要な支援ができるように日々のケアを心がけています。大変なことが多く、悩むことが多いのですが、利用者の皆様やご家族から「ヘルパーさんが来るようになってから子供の表情が明るくなった」「ヘルパーさんが来るのを待ってるのよ」とほほ笑みながらお話をさせていただくと本当に支援させていただいてよかった♪うれしい♪という気持ちにさせていただきます。また、ヘルパーとの関わりから「この子と一緒にご飯を食べたの初めて」「散歩をするときに笑顔を見せてくれるの」「自分ひとりで（家族以外と）玄関から外出したこと無かった」などなど…新しい気づきがあることをお聞きすると、自分たちの支援が皆様の生活に影響を与えているんだと実感します。自分の当たり前ってなかなか気づけないものですよ。そんな素敵な気づきがあると本当にヘルパーをやって良かった♪と感じます。

現場では、ひとりで対応することが基本なので判断に困ったり、不安になることがあります。スタッフ間で意見・情報交換をしてより良い支援を目指します！（担当 中野）

## 冬のデイサービス

年末にすっかり恒例になりました冬期デイサービスを12/29・30に行い 名の児童たちが元気に参加をしてくれました。

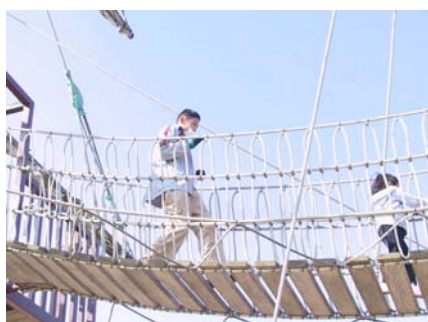
毎年参加してくれる子の中には、落ち着かなかい動き回っていた子や遊びが気になってお弁当を食べられなかった子が周りの友達たちと同じ部屋の中で遊び、スケジュールに沿って活動していた子がいました。また、去年は散歩に出かけてもついて行けず、途中で引き返してきた子が、周りの友達と一緒に最後まで歩きました。その成長ぶりが頼もしく、うれしくあります。中には冬期デイサービスでしか会うことのない子もいてイマジンにとっても一年の締めくくりとともに、子供たちの成長した姿を見せてもらえる大切な時間となっているなあと実感しました。

年を明けて1月には、こちらも恒例になりました法多山への初詣に行きました。 名の児童と成人の方が参加してくれました。今年、印象的だったのは、毎年参加をしてくれる方が初めて参加される方をリードしたり、成人の方が児童の方をサポートしたりと参加者間での助け合いも見られ、微笑ましい光景がたくさん見れました。例年よりは参拝者が少なく感じましたが、参加者にとってはあまり体験することのない人混みの中、周りの友達やボランティアなどから離れずに歩き、全員で参拝することができました。何をお願いしたのかは誰も教えてくれませんでした。銘々が手を合せていました。初めてデイサービスに参加される児童のご両親の心配そうな表情とは裏腹に、お約束のように厄除け団子を並んで買い、お使いを果たし満足げな顔もちらほら…帰りの道のりも日陰で寒く、疲れたのか電車の中ではウトウトzzz…

寒さにも負けず、元気に過ごしたイマジン冬のデイサービスでした。2つ共に恒例行事となりイマジンとしても楽しみな事業です。帰る際に、「今度は〇〇さんと行くよ」と話してくれた参加者の笑顔が何よりのご褒美でした。ありがとうね。（担当 古木）



何ができるかなあ



ゆらゆらと吊り橋を渡る♪



ちょっと怖いけど、へっちゃらだよ



## 平成20年度の会員になっていただきありがとうございます。

☆金澤 常代様 ☆平野 徹様 ☆柴 勲様 ☆堤 英子様 ☆松本 聖市様

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

振込先 静岡銀行 島田支店 普通 0606771  
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

## ヘルパー事業所より一言

いつもイマジンのヘルパーをご利用の皆様。本当にありがとうございます。

支援に入らせていただく地域も広くなり、利用者の数も多くなり、支援内容も困難なケースが多くなり…と毎日悩みながら、理事長より怒られながらも精一杯支援させていただいています。寒い季節になり、ヘルパーの体調不良からケア内容の変更、対応者の急な変更などをお願いしたケースもありましたが、この場をもってお詫びさせていただきたいと思っております。申し訳ありませんでした。ヘルパーの健康管理には十分に気をつけてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

最近ではインフルエンザや肺炎も流行っています。ご本人様、ご家族様共に体調には十分注意をしてください。もうしばらく寒い季節も続きますが、元気よく、より良い支援を行いたいと思ひます。よろしくお願ひします。（担当 中野）

## お知らせ

### ◆◆ ラジオからイマジンが♪ ◆◆

**FM島田で毎週金曜日の午前11時45分から55分までの10分間「ケアパートナー」という番組を放送しています。この番組は、地域で活動している方を1ヶ月間ゲストとして迎え、活動内容や活動に至るまでの話などパーソナリティーの方と楽しくお話しする番組です。**

**この番組に、2月のゲストとしてな・なんとイマジン 理事長 沢島がゲストとして出演しま〜す♪**

**島田にお住まいの方は、是非ラジオを76.5MHzに合わせてお聞きください。島田市外の方も2月の金曜日のこの時間だけは島田にお越しください。**

**日時：平成21年2月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金)  
午前11時45分～55分**



連絡先 特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4

TEL 0547-34-3370

FAX 0547-34-3371

e-mail [imagine@za.tnc.ne.jp](mailto:imagine@za.tnc.ne.jp)

URL <http://www3.tokai.or.jp/imagine/>